

目的 第29回本学会総会で行，た報告に引続き，染色に及ぼす圧力の効果を検討する目的で実験を試みた。前回の報告は遠心力を利用して加圧し，その染色効果を調べたが，今回は，染色温度，時間を一定とし，静圧力による染色率，染色堅ろう度と及ぼす効果を検討した。

方法 試布…毛・綿・ナイロン (JIS-L-0803 染色堅ろう度試験用添付白布)

供試染料…C.I. Direct Blue 248 (化薬)，(綿染色用)，C.I. Acid Blue 62 (化薬)，(ナイロン染色用)

C.I. Acid Blue 182 (化薬)，(毛染色用)， 実験方法…ケラスオートクレーブEM-U型 (耐

圧硝子工業KK) により，圧力0，5，10，15気圧，染色温度は常温，40℃，60℃，染色

時間は30分，60分の組合せにより試験容器内で攪拌しながら染色を行，E. 染色試布は，

染色率測定，染色堅ろう度試験 (摩擦，耐光，洗たく) を行，て結果を比較検討した。

結果 染色率測定結果…毛は18℃～25℃で染色しても加圧によつて染色率の上昇は見ら

れず，60℃では圧力の大きさと関係なく普通染色 (常温) より優れた染色効果を得た。

ナイロンは，親和性の良い染料であるため，染色温度が40℃で60分染色すると，殆ど100%

の染色率で常温でも約60%の染色率を得た。綿は比較的効果が悪く，前回の実験によれば

良好な結果が見られたので，染料と繊維の組合せが問題であることか判，E. のでさらに検

討中である。染色堅ろう度試験結果…普通染色試料と比べて，圧力利用の綿試料の洗たく

試験結果と毛の耐光堅ろう度がやや悪か，たが，他の試料は，普通染色の試料と殆ど差が

なかった。繊維の風合，色相の変化は，見られなかった。